

ぶるちやれ

田富中第2学年 学年通信

～青学年全員の挑戦譚～

22.9.6(Tue)

自分の殻も破るのだぞ
文責：佐野 亮祐 (20)

忙しい時ほど大切にしてほしいこと

やることに追われる生活を送ると今まで大切にしてきたことが適当になってしまいがちです。学年合唱の練習の折に、「**行事の前だからこそ日常生活を大事にしよう。それが土台だし、この学年がこだわってやってきたことだから。**」と話をしました。今、自分自身の生活を振り返ってみてください。雑になっていることありませんか？

登校時や廊下でのすれ違いあいさつ、明るく元気に爽やかにできていますか？靴を下駄箱に揃えて入れていますか（靴のかかとを踏んでいる人いませんか）？朝の読書を静かに読めていますか（いつも同じページを開いている人いませんか）？朝の会で正しい姿勢で話を聴けていますか？休み時間、廊下で過ごす時、周りのことを考えて過ごせていますか？シャツはきちんとズボンの中に入れてありますか？授業中は自分の考えをアウトプットしようとチャレンジできていますか？ロッカーや机の中はキレイに整頓されていますか？給食の準備・片付けは自分の分担をきちんと果たせていますか？清掃はその場所がキレイになるまで取り組んでいますか？そして、ぶるちやれノートにはその日の授業の最も大切なことをまとめられていますか？その日の反省を3行分きちんと書こうとしていますか？+αのスペースには自分の弱点や今強化したいポイントに時間を割いて取り組んでいますか？この他にもきつとクラスによってはやるべきことはあるかもしれませんね。こんなにも多くのことを当たり前に行おう！とみんなは今まで取り組みを通してそのチカラをつけてきたのです。

青雲祭に向けて「忙しい」毎日。「忙しい」とは「心が亡くなる」と書きます。みんなには心ある丁寧な生活を、今までこだわってやってきたことをきちんとやり抜く生活を、忙しい今だからこそ過ごしてほしいと思います。**すべてはきちんとした土台の上にしか築くことはできません。**

楽しいと楽は違うよ。
楽しいと楽は対極。
楽しいことがしたいんだから
楽はしちゃダメだよ。

3年生のチカラ～本当の楽しさってこういうことだよ～

学年合唱の入退場を確認するために、3年生の合唱練習にお邪魔しました。私たち2年生の青雲祭の目標は『3年生を超える』こと。だからその3年生の姿を目に焼き付けておきたいと思いました。3年生の合唱練習は「さすが3年生！」思わず拍手が自然と出ました。まだ2回目の合わせ練習だと聞いてさらにビックリ。練習は先生たち主導ではなく、生徒が動かしていました。「ここをもっとこういう風に歌おう。」「この男子の声が大きすぎて女子のパートを消してしまうから、男子は抑えめにしよう。」「この出だしの部分が弱くなってるからはっきりと音を出そう。」こんな声が練習の合間に交わされ、そして練習が進んでいきます。休憩時間は一度もありませんでした。ずっと立ちっぱなしでした。非常に暑い日で、見ている私も汗を拭いながらでしたが、3年生は誰一人と座ることなく、むしろもっと良い合唱を自分たちで創りたい、そんな雰囲気にも包まれていました。その時間の最後に通しで歌いましたが、その合唱を歌い始める前に3年生男子から自然に発生した「よっしゃ、がんばろう！」の声。そしてそれに応える仲間の声。ああ～あったかいなあ～。これが最後にかかる想いだよなあ～。

さて、みんなの青雲祭に向けての気持ちはどうでしょうか。クラス合唱の取り組み、学年合唱の取り組み、そして体育種目の取り組み。上手いいかないこともある。面倒だと感じることもある。逃げ出したいと思うことだってあると思う。でもね、3年生はそんな私たち2年生に大切なことを教えてくれています。本当に大切なことは何なのか、を。**さあ、2年生！やるっきゃねえぞ！**